

大山観光の発展に役立てて 博労座に歌碑を建立



歌碑の目録を森田町長に渡す杉原さん（中央）と渡部さん

「あなたがもしも一人になつて…」で始まる大山賛歌。大山を愛する人々に歌い継がれ、大山の歌として親しまれていま

す。このほど作詞者の渡部美代子さん（旧姓松田）の親族の方々から「今後の大山観光の発展に役立ててほしい」と大山賛歌の歌碑建立の申し出があり、県などの許可を得て博労座に建てられました。夏山開き祭があつた6月7日に、関係者により除幕式が執り行われました。



博労座に建てられた大山賛歌の歌碑

6月22日には、親族の方々が作詞者の渡部さんと共に役場を訪れ、森田町長に目録が手渡されました。親族の方は「今までの感謝の気持ちを何かの形で返したい」と思い、歌碑の建立を思い立ちました。大山を訪れる方々にこの地の自然とこの歌の素晴らしさが伝わり、町の発展につながればと思います」と話しました。渡部さんは「感謝の気持ちでいっぱいです。大山賛歌を皆さんに広く知ってもらい、心の中に残してもらいたいです」と話しておられます。

ふるさとの味PR 鳥取・大山町お宝食材フェア開催



ランチビュッフェ模様

メニュー

昼1,000円

ご飯 ののご飯、大山おこわ、さざえご飯
 主菜 さざえのへか、大山鶏の照り煮、煮卵
 副菜 いぎす、坊主ごろし、木綿豆腐、豆腐ちくわの磯辺揚げ
 汁 あごのつみれ汁
 デザート 芋ぼた

夜5,000円（ドリンク込み）

ご飯 ののご飯、大山おこわ、さざえご飯、鳥賊めし
 主菜 さざえのつぼ焼き、さざえのへか、あご天だんご、
 大山鶏の藻塩焼き、白ねぎ鍋、將軍鍋
 副菜 いぎす、坊主ごろし、おぼろ豆腐、大山の猪の生ハム、
 野菜の蒸し物、蒸し豚
 デザート 芋ぼた、スイカ
 ドリンク 大山の水、大山の地酒、地ビールなど

7月7日七夕、東京都千代田区丸の内蒸し料理レストランmusmus（ムスムス）で「誰も知らないふるさとの味」をテーマとして鳥取・大山町お宝食材フェアを開催しました。

当日は大山町の農産物や海産物をつかった郷土料理を中心に、昼と夜にメニューを提供し、大山町の特産物や食材をPRしました。

フェアには、県関係、食品関係、飲食関係、雑誌関係のほかビジネスマンなどにお

越しいただき、多くの人で賑

わいました。参加者からは「ヘルシーで体にやさしい」「めずらしい。いぎす、坊主ごろしってなに?」「作り方をおしえて」と評判も上々でした。

今回は大山町PRの一環でしたが、大山町の食の良さを伝統的な食文化も改めて感じたところ

です。この催しは、今年秋に鳥取県フェアとして開催され、引き続きPRを行っていきます。



ディナービュッフェ模様